

發行編輯人 川崎文治
印刷所 福島縣石城郡飯沼町十一番地
印刷所 本報印刷部

常磐新聞

定部金貳圓
廣告費五號十三
料字詰一行
五十錢

休日(日)大祭福島縣
祝日(日)大祭福島縣
發行所 常磐新聞社
電話六三〇〇番

刊夕日六十二月八

定部金貳圓
廣告費五號十三
料字詰一行
五十錢

休日(日)大祭福島縣
祝日(日)大祭福島縣
發行所 常磐新聞社
電話六三〇〇番

社會藥製治明

店理代マ
ヤトモツマ

中元大賣出

奉仕的特價
半素の御
引立に酬
ゆる爲の
商品全部
正札の部
特引五分
特引五分

時計眼鏡貴金
屬商
金光堂時店
平町五丁目

常磐文藝

◇女人王國

宵の夢生

蒸し暑い眞晝すぎの
女中部屋をのぞいたら
若き三人の女たちが
六疊の部屋にいつぱいにひ
ろがつて眠つてゐる
体一面汗ばみながらに
何も彼も打忘れて眠つてゐ
る
丸々せる肉体を包める薄衣
の上に
蠅どもが何も解らず飛び舞
ふてゐるのみだ
女人王國の此の部屋は
すばらしく漫熟しきつた女
の香りで
面喰ふ程みちみちてゐる

高級 逸獨 眼鏡

（メニスカス）
（メニスレ）
（メニス）

シズを何ん
で皆さんが
お好みにな
るのです
答「掛け心地
が良くて眼
や脳へは絶
對弊害がな
からす」
からす」
常磐時計店
電話三三九番
平町一丁目

弊店眼鏡部は各國品多敷取扱へ
電力照用で速時調整します

霜降小倉
通學服

寸法各種
澤山取揃
磐城平
ふかや洋服店
電話二〇三番

亡妻新益に就ては提灯其他
供物御贈惠の儀は甚だ乍勝
手御辭退申上度候に付何卒
御諒承被下様願上候

田町
遠藤平兵衛

常磐論壇

農村振興問題 (四)

政界通人

◇農産物の多量生産に就て
は何よりも先に土地の改良
といふことが必要である、
そして土地の改良に就てそ
の條件となるものは自作と
いふことである小作農の場
合は例令如何なる熱心をも
て土地を改良した所で若し
地主に必要が起つて取上げ
られれば折角の努力も遂に
水泡に歸する譯である、だ
から自分の土地であるので
借りた土地であるのではそ
の土地に對する愛の程度に
大なる差異のあることを

電話開設御披露

番號	町名	氏名
六一〇	二丁目	下駄類洋品店
六三〇	二丁目	三井分店
六六一	二丁目	常陸セメント海岸線特約店
六三〇	橋町	酒井喜七 (住吉屋分店)

今般電話架設開通仕候間是非御利用の
上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

を召し上つて下さる
「うなぎん」は卅五錢ご
五十錢ごです
召し上がつて初めて當家の勉強振りを賞め
て戴けると確信します

うなぎん
そば
つや
平町長橋町

亡父篤光院新益に就いては
遺言に依り提灯其他の御贈
與品一切辭退仕度此段得貴
意候也

平町一丁目和久井屋號
吉田彦太郎

今年は亡母貞草院の新益に相當仕候へ共
遺言に據り提灯其他の御贈與品總べて御
辭退申上度く此段不憚御諒知奉願上候

平町四丁目
星野庸治

考へなければならぬ、こ
れ我々が自作農奨励を唱道
する所以である

◇自作農奨励に就ては歐洲
列國が既にすでに範を示し
てゐる事實に見ても如何に
それが必良緊切なことであ
るかには疑はれる、殊に日本
の如き小農國に於てはその
必要、歐洲諸國の比でない
のは云ふ迄もない政府が小
地主に對して免稅點を設け
んとする意志を表明した事
は此點より見て最も策の得
たるものであると思ふ(完)

七夕祭 (一)
満壽莊

て七月七日に笹竹に色紙短
冊等をつるして牽牛織女の
二星に供することを古來か
らのならはしてあるが今其
因て來る處を尋ねるとこれ
は支那から傳つた事で支那
の齊諧記と云ふ書にこんな
事が書いてある

天の河の東に織女あり乃
ち天帝の子なり機梭に勞
役して容を理むるに違あ
らず天帝其獨居を憐みて
將に嫁せしめんとして河
西の牽牛を夫に與ふ嫁し
て後に女工を廢す天帝怒
り責めて河東に歸らしめ
唯一年に一會せしむ

(つゞく)

品質優良 精米所

富豊量 精米所

電話一六〇番 呼出町橋長町平
スマシタイ達配速早ズラハ拘ニ少多ハ文日御
スマ願シ試御ハ度一非是

全刺子ト染物
柏傳の
柏屋染物店

平町に開かれる 自強術の講習會

總ての人々が……

簡易に出来る心身鍛練法

山崎氏や其他が發起

位への講習會を開く段取りと略ぼ

強健な体驅に強健な精神宿る！、平人士には風土の關係が不健全な体驅の所有者が多い、是れはさうしても根底的に改善を圖らねばならぬ、

夫れには 何人にも

簡易に然も短時間に行はるゝ体育的方法を鼓吹する必要がある！、茲に意見が合致して本朝平在郷軍人會長で平青年團長を兼ねる山崎清三郎氏に集つた軍人分會幹部の田卷榮一氏や藤田榮助氏等が種々協議の結果「自強術」

心身鍛練 の上に偉

効を奏す」と云ふ事に纏り是非平町に此の講習會を催し度いと準備に着手した、其處で大体の目論見を聞くに來る卅日午後六時から公會堂に於て自強術がどう云ふものであるかを一般に知らしむる爲めの講演會を開く筈で

その講師 としては

現に東京自強術本部の幹部で元は東京相撲の幕内力士として鳴らした當時の「綾川」村上要治氏と令嬢及び小樽自強術支部長の松本誠司氏である、そして此の講演會が終つて後男子部と女子部に分ちて一週間か十日

たのです、今度は愈々此事が具体的に實現する事となりましたが健康を望む眞面目な 人々をのみ網羅して効果を挙げたいと思ひます」云々

平地方の益景氣

農家の好況で人氣好く

相當活氣を呈す

地方にも相當活氣づく事であらう

石城郡内の 体育熱熾烈

この夏の催し

石城郡内は最近体育熱頗る熾烈となり郡内至る所に野球庭球場等は設けられてゐるが殊に今夏今期休暇に際しても警中の二日より九日までの水泳講習、警女生の(二十五日(七月)より一日(八月)までのテント生活水泳講習會並に弓術講習會を初めとして平小學校の四倉臨海學校赤井岳簡易テント生活其他各小學校の水泳講習會青年處女團の体育競技會等まで開催され體育獎勵に努め體育上には多大の向

好價なるため俄に

活氣づき益支度の買入に忙しい有様であるが其他各村も過般より當局において貯金の獎勵につとめた結果貯金者が多くあつた爲めその内情は可成の活氣ある模様で あるから舊

益も、數日に迫つた平町



家庭欄

サツマ芋の成分

サツマ芋の成分の主なるものは澱粉ですが尙ほ少量の蛋白質、ビタミン、其他

で改修工事を施してあつたが過日の出水で非常に破損し之れを放任して置くに被害が甚大であるので古川縣議は復舊工事を速かならむべく奔走中

戊申戦役

追悼會を行ふ

平町舊藩士から成る平安會では三十日午前十時から良善寺にて戊申戦役殉難者の追悼會を行ふ

永戸宮城拜覽

石城郡永戸組合村役場吏員及び村會議員等廿七名は来る廿九日宮城拜觀の爲め上京す

追悼會を行ふ

永戸宮城拜覽 石城郡永戸組合村役場吏員及び村會議員等廿七名は来る廿九日宮城拜觀の爲め上京す

屍体を發見

笑戸の池の溺死体

昨報石城郡飯野村大字上荒川地内笑戸の池にて溺死した同郡内郷村字高坂警城炭礦職工山田正藏(三)の屍体は昨日引續き搜索中の處午後三時頃漸く發見され實父留藏に引渡された

又も幼女溺死

石城郡好間村大字北好間字羽竟荷馬車軌程二の長女渡邊二三(三)は廿四日午後五時頃好間川に押流され溺死した

白銀區長改選

平町白銀町にては明二十七日區長改選を行ふ筈であるが宮崎善太郎氏が最も呼び聲が高い由

平町人事

- ▲出生
 - △田町三六 馬目信之助氏二女仁子
 - △三丁目一 佐々木喜代治氏(五七)
 - 英城縣結城郡名崎村 田村(五四)
- ▲婚姻
 - △材木町三六 大齊徳三氏(三一)英城縣結城町金子(二四)
- ▲死亡
 - △彌富町六八 菅原(トツ)一(一五)

不明の精力劑も含み相當のカロリーをも有し、人々の想像以上に營養上の價値があります。と申しますのはサツマ芋の名の起つた薩摩の國などでは、サツマ芋を常食としてゐるが爲か、概して体格偉大で丸々と健康状態に肥満してゐるのを、イモ太りと云ふ位でよく人

小學校へ寄附

石城郡永戸村大字合戸字淨矢村會議員會津代吉氏は死亡した實母の供養として同村小學校に基本金として金廿圓を寄附したと

川前納稅組合

石城郡川前村は納稅成績極めて不良の爲め納稅組合と組織すべく矢内村長が奔走中である

兔の耳

大あくび御注意 二十五日午前十時頃本所區表町四十番六永屋白毛勇治郎(六)の妻ひで(五)外出先より

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川峻文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

茨城採炭が 警炭へ合併

昨日の總會で

既報警城炭礦は二十五日午前十時本社に臨時總會を開き左の諸案を可決した

- 一、會社合併の件
- 二、定款變更の件
- 三、定款第四條中金九百萬圓とあるを金一千七百五十萬圓に改むる事同じく第七條中十八萬株とあるを廿一萬四千株と改むる事
- 四、右合併に依り取締役一名選舉の件は同部吾市を選任する

川前軌道修繕

石城郡川前村に於る神戸共榮工株式會社川前軌道は去る十五六兩日の豪雨に軌道破壊され交通杜絶の状態である爲め木炭商組合が六百圓を出費して修繕し軌道料と差引く事になつたと

鮫川改修工事

古川縣議奔走

石城郡南の鮫川は出水毎にはんらんして沿岸の耕地に浸水し被害多く之れが治水策につき當局は苦心中であるが同川は屈折甚だしく田人村地内井戸澤橋下流から島田地内は殊に甚だしいの